

第三十三回 宗像歌会

平成二十六年十一月十五日(土)

自由詠

ユニークな名前の喫茶店
入りたいけど
太りそうで
躊躇する
その名は「へつばら」

玉田 久美子

「有難う」と言えば
相手からも
「有難う」の言葉が
返される
本当に言葉は魔法

のぎた えいほ

木枯らし吹いて
白山茶花
ひらいた
冬の子、ひらり
舞い降りたように

高原 美智子

ミツバチが消えた
チョウも鳥も 少なくなった
スーパースターと云われる
農薬の影響と云う
自然のバランスがくずれる！

みね

「ふ」という字を見た時
「不安」や「不幸」ではなく
「ふっふっふっ」を連想した
私って
幸せなんだ

松本 晴美

題詠『獲物』
笑が止まらない
すべての民が獲物
税を増やそう
年金減らそう
暴動も起きない国だ

岡本 まさ子

新幹線から
手を振れば
ホームを走り
追いかけて来る小二の孫
愛しく ただ 愛しくて

大槻 幸子

一年にも満たない
幼児でも
狙いをすまし
ほしいオモチャは
逃がさない

松本 晴美

シンクロ団体のように
水にもぐり
水に浮かぶ
渡り鳥の
餌とるこぐわ

岡本 まさ子

獲物をとる姿
カモは逆立ち
サギはそーっと
忍び寄る
いのちの営み 種の個性

杉本 明美

背が丸くなる
心も丸くなるのかな
もっと丸くと云えないが
丁度これでいいのかな
私の心も軽くなる

杉本 明美